

どんな暮らしをしようかな？

ショッピングモールの中で「理想の暮らし」を考える家をつくる
ワークショップ形式のプロジェクト“MUSASHIMURAYAMA MALL HOUSE”開催概要

～株式会社ワールドが展開するライフスタイルストア「フラクサス武蔵村山」で実施～

新たなモールのあり方を実践するプロジェクト



昨年のワークショップの様子

7月20日(土)から、株式会社ワールドが東京都武蔵村山市にあるイオンモールむさし村山に出店するライフスタイルストア「フラクサス武蔵村山」において、参加者とともに「理想の暮らし」を考える家をつくるワークショップ形式のプロジェクト“MUSASHIMURAYAMA MALL HOUSE（むさし村山モールハウス）”を開催します。

このワークショップは、昨年度より、東京藝術大学大学院に在籍するアーティスト 佐藤 悠が企画し、“『消費』の場であるショッピングモールの中で、『創造』が育まれる場と関係を作る”ことをコンセプトに展開してきました。今回のワーク

ショップでは、消費と創造の両者が共存できる新たな場としてのモールを実践しています。

私たちが本当に求める「暮らし」って何だろう？

活動の中で、参加者は自身が考える「理想の暮らし」を想像し、その暮らしを実現させるには何が必要なのかを考え、物品、状況、他者との関係など様々な素材で形にします。そして、“MUSASHIMURAYAMA MALL HOUSE”という架空の家をステージに「理想の暮らし」を再現し、その様子を写真に撮ります。撮った写真と制作物は会場に展示し、会期が進むにつれて会場は様々な「理想の暮らし」が蓄積された家が完成されていきます。その後、参加者は他の作品を鑑賞したり、その実現に協力することで他者の想像力に触れ、個人を超えた視点で「理想の暮らし」をもう一度想像することに立ち返ります。このサイクルを繰り返す中で活動を純化させていき、今、私たちが真に望んでいる生活が何なのかということ会場に浮かび上がらせます。

【開催概要】

日程:2013年7月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)、8月3日(土)、4日(日)の6日間

時間:各日、13時～17時

場所:イオンモールむさし村山「フラクサス武蔵村山」店舗内 (住所:東京都武蔵村山市榎1-1-3)

対象:小学生とその保護者

参加費:無料 参加にあたり、「ワールドプレミアムクラブ」カードの提示と写真等の撮影に対する同意が必要。
なお、参加当日に「ワールドプレミアムクラブ」に入会(無料)することも可能。

主催:株式会社ワールド

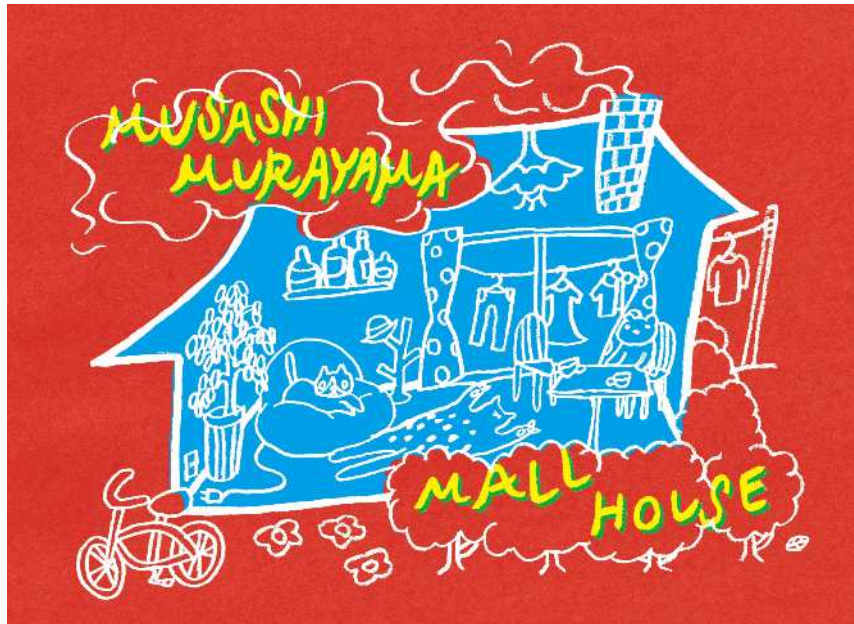
【ワークショップについての問い合わせ先】

担当 : 佐藤

: 09042180192

Mail : c12o20h22you@yahoo.co.jp

物をつくり、場をつくり、関係をつくるプロジェクト



今年のワークショップのイメージイラスト

くらしをより良くするために、多様な商品やサービスが並び、様々な人が訪れるショッピングモール。その中で、消費からではなく、「物をつくる」ということを発端として「理想のくらし」を考えるというのが、今回のプロジェクトの目的です。プロジェクトは、ワークショップ形式で行いますが、従来のイベント的な一過性の物ではなく、制作物や記録物は全て現場に残して展示し、3週間に渡って継続的に活動します。そして、下図の4つのタームを繰り返しながら創造が連鎖してゆく場を育ていき、参加者が繰り返し訪れ、プロジェクトに深く関わっていく環境を作ることで、ショッピングモールへの来訪者が消費者としてではなく、価値を生み出す者としての新たな割と関係性を担う状況を作り出します。

美術大学を中心とした大学生のスタッフが参加者をサポートする他、参加者の中からもボランティアスタッフを募集し、プロジェクトを継続させていく場や関係そのものも参加者と共に構築していきます。ショッピングモールとそこへ訪れる人の新たなあり方を提示するユニークな試みに是非、ご注目ください。



ワークショップで取り組む「活動の4つのターム」

2012年のプロジェクトの成果について ～昨年、「フラクサス武蔵村山」で実施したワークショップ報告～

「MUSASHIMURAYAMA ROCKET & ALIENS(むさむら山 ロケット&エイリアンズ)」

会場:イオンモールむさし村山 内、株式会社ワールド「フラクサス武蔵村山」

会期:6月23日、24日、30日、7月1日、7日、8日の6日間

参加費:無料

参加人数:約600人

昨年2012年に実施したワークショップでは、ロケットとエイリアンをモチーフに「再会」をテーマにしたプロジェクトを行いました。参加者は、カッティングシートを材料にオリジナルのエイリアンを作り、大きなロケットのパーツに搭乘させていきます。制作物は会場にそのまま展示し、会期を重ねるごとにロケットはつながってだんだん大きくなります。ただ物を作るのではなく、スタッフが状況を見て細やかなコミュニケーションをとり、参加者との間で“またこの場所に来たい”と感じるような関係も同時に構築。ワークショップ終了時には担当したスタッフから、メッセージ入りの名刺とメンバーバッジが授与され、参加者が会場を再び訪れるきっかけを作っていました。



参加者との関係性を重視してプロジェクトを進めて行った結果、1割以上の方が会期中に2回以上来場し、会場には多くの再会が生まれました。また、中には6日間の会期中に5回も参加する方やスタッフ宛に手紙を持参してくれた方、参加者としてではなくボランティアスタッフとしてプロジェクトをサポートしてくれる方も現れました。その場限りのサービスのやり取りや個人の物作りに終始してしまうワークショップイベントではなく、物作りをきっかけに、他者との対話や個人個人の継続的なつながりを生み出したことはこのプロジェクトの大きな成果であり、モールという環境の中で物作りが生み出す物について再考する可能性を得ることができました。

参照:活動のブログ <http://rocketandaliens.blogspot.jp>

参加アーティスト 佐藤悠 (yu sato)

< 略歴 >

1985 三重県生まれ

2011 東京芸術大学先端芸術表現科修士課程修了
現在同博士課程在籍

< 主な出品歴 >

2006 「メキシコベラクルス州立大学交流展」出展(ベラクルス州立大学 / メキシコ)

2008 「群馬青年ビエンナーレ08」入選 (群馬県立近代美術館 / 群馬)

2008 「AMUSE ART JAM 2008」入選(京都文化博物館 / 京都)

2009 「六本木アートナイト」出展(六本木ホテルアイビス / 東京)

2009 「101TOKYO -FRESH DISCOVERIES-」出展 (秋葉原UDX/東京)

2010 「Franc franc Art Display Project 2010 vol.1」出展(銀座Franc franc / 東京)

2010 「right here, right now ARTZONE LOVES FRESH」出展(ARTZONE / 京都)

2010 「創造公園渋谷」出展(渋谷タワーレコード前歩行者天国 / 東京)

2011 やっぺし祭り 出品(大船渡 / 岩手)

2011 「空の芸術祭」参加(横浜市旭区若葉台団地 / 神奈川)

2012 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 2012 出品(十日町市 / 新潟)

2012 黄金町バザール 2012 出品 (横浜市黄金町 / 神奈川)



God bless me (2009)



ゴロゴロ訪平 (2009~)



WAKABADAI SKY DRAGON (2011)



いちまいばなし (2011~)